

【会長挨拶】

まもなく2020年度が始まります。会員のみなさまにはご健勝のことと拝察いたします。昨年は、安田女子大学での第91回全国大会開催をはじめ、学会誌(和文号、英文号、支部統合号)の刊行、大会Proceedings電子版の刊行、海外研究者招聘後援事業など、多岐にわたる学会活動にみなさまのご協力を賜りました。厚く御礼を申し上げます。

新年度に入りますと、さっそく5月16日、17日の両日、第92回全国大会が琉球大学(沖縄県)で開催されます。目下、大会準備委員会や開催校、事務局、および九州支部の諸先生により、鋭意、準備が進められております。プログラムにつきましては、本ニューズレターと合冊の「大会資料」をご参照ください。(学会ウェブサイトからもご覧いただけます。)沖縄県での初めての全国大会開催になります。会員のみなさまの活発な研究交流や情報交換が展開されますよう、祈念致しております。

文学や語学にかかわる研究教育環境の変化には、特にここ数年、著しいものがあります。文学作品や先行研究のテキストが大型のデータベース等に収録され、従来はいささか利用しにくかった作品や文献を大いに活用できるようになってきた、ということもその一つでしょう。ただ他方で、そのような「データ」の拡大に伴って、内容を精読・精査してしかるべく評価し、必要があれば従来の研究や批評、文学観や歴史観を丁寧に修正・改善して行くための、より確たるディシプリンや柔軟な思考力、広い視野が求められているとも言えます。言語を媒介に思索し、創造し、また豊かな想像力を発揮するという人間の営みは、テクノロジーが発達すればするほど、その重要性を増していくものであることは言うまでもありません。創立以来、約一世紀にわたる日本英文学会の研究活動の歩みとその成果を、今、私たちはもう一度よく咀嚼し、新た

な100年へ向けて、研究においても教育的実践においても、言葉の探究および人間の想像力と創造力の涵養を軸に、態勢を整えて行く必要があるかと思えます。日本英文学会は、今後とも、会員のみなさまのさまざまなご要望を勘案しつつ、対象とする諸分野の研究活動と学術的交流の場を大切にしていまいりたいと考えております。会員のみなさまの更なるご支援を心よりお願い申し上げます。

(原田範行)

【理事会報告】

◎第92回全国大会

第92回全国大会は、2020年5月16日(土)、17日(日)の両日、琉球大学(沖縄県中頭郡西原町)において開催されます。多数の会員のご参加をお待ちしております。また開催校委員、開催支部委員の皆様にはご負担をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

◎全国大会の特別シンポジウムについて

第92回大会の第2日目には、理事会の主催による特別シンポジウムが以下のように開催されます。沖縄にゆかりの深い学者を中心とした学際的なシンポジウムに、是非ご期待ください。

タイトル:「交錯する眼差し——東アジア島嶼地域と英米の文学(トラベルライティングを中心に)」

司会: 原田範行(日本英文学会会長・慶應義塾大学教授)

講師: 浜川仁(沖縄キリスト教大学教授)

山里勝己(名桜大学大学院教授)

名嘉山リサ(和光大学准教授)

石原昌英(琉球大学教授)

◎全国大会期間中における託児施設の利用について

開催校、開催支部のご尽力により、第92回

全国大会期間中には、以下のとおりに託児施設が開設され、英文学会会員の希望者専用にご利用いただけます。

日時：2020年5月16日(土)(11:00～18:00)
5月17日(日)(9:00～17:00)
場所：申込者には当日お知らせいたします。
委託託児業者：西原ふぁみりーさぼーと「きらきら」

お問い合わせ、ならびにご利用のお申し込みは、本部事務局にて受け付けております。詳しくは学会ホームページに掲載の「全国大会開催期間中の託児室開設規程」をご覧ください。締切は4月6日(月)です。

◎終身会員制度について

日本英文学会では2013年度より終身会員制度を始め、すでに90名のお申し込みをいただいております(2020年1月現在)。「終身会員規程」は学会ホームページ「情報公開」欄より閲覧できますのでご覧ください。お問い合わせ、ならびにお申し込みは本部事務局にて受け付けております。

◎事務局開室時間

2013年1月より本部事務局事務室の開室時間は以下のとおりとなっております。
月曜日～木曜日 11:00～16:00

◎海外研究者招聘後援事業

英文学会では、2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しております。該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。応募する団体は、申請書類を電子メール添付にて本部事務局あてお送りください。なお同事業の応募規程ならびに採択された事業の概要ならびに企画申請書は、学会ホームページ「情報公開」の「海外研究者招聘後援事業規程」欄で閲覧できます。

2019年度は、国際学会“Modernism and Multiple Temporalities”(2019年9月12-14日、於・青山学院大学、代表者・秦邦生)からの申請が1件あり、理事会における慎重な審議の結

果、210,000円が交付されました。

◎会員著書案内

英文学会では、本部事務局あてに会員から著書を献本いただいた場合、学会ホームページに掲載紹介を出版から2年のあいだ掲載することができるようになっております。著書は会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。なお、著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。ご希望の方は、次の情報を本部事務局までメールでお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概1,200字程度
3. 目次

会員の皆様、著書を出された方は、どうぞふるってこの著書案内コーナーをご利用くださるようお願いいたします。2020年1月現在、会員による著書17冊が学会ホームページ「会員著書案内」欄で紹介されております。ぜひご覧ください。

【2020年度シェイクスピア祭のお知らせ】

2020年度のシェイクスピア祭を、日本シェイクスピア協会・日本英文学会共催、早稲田大学文学学術院協賛にて、下記の通り開催します。一般公開(事前予約不要)で無料です。お知り合いをお誘いのうえ、奮ってご参加ください。

日時：2020年4月25日(土) 13:00～16:30
場所：早稲田大学大隈記念講堂 小講堂
[東京都新宿区戸塚町1-104]

最寄駅からのアクセス

- JR山手線 [高田馬場駅]下車 徒歩20分
- 西武新宿線 [高田馬場駅]下車 徒歩20分
- 東京メトロ東西線 [早稲田駅] 下車徒歩3分
- 副都心線[西早稲田駅]下車 徒歩12分
- 学バス高田馬場駅—早大正門、早大正門バス停(終点)

プログラム

- 13:00～ 挨拶
- 13:10～14:40 講演

「シェイクスピア——国民的詩人からグロー
ーバル・アイコンへ」

講師：川地 美子氏(元杏林大学教授)

15:00～16:30

戯曲リーディング『リア王』公演

新訳・演出：河合 祥一郎

【大会準備委員会からのお知らせ】

◎研究発表応募について

第92回大会の研究発表に応募された方々は、英文学21名、アメリカ文学5名、英語学8名、英語教育3名、その他(英語圏文学、複合分野など)2名の総勢39名でした。前年度実績である29名(英文学14名、アメリカ文学8名、英語学6名、英語教育学1名)からは大幅に増加いたしました。次回大会でもより多くの会員の方々からご応募いただけますことを期待しております。

大会準備委員会では、発表タイトルおよび発表要旨を含め、応募原稿に基づいて審査・銓衡を行っております。大会準備委員会より依頼・要請した場合を除き、応募後のタイトルの変更はご遠慮いただいております。また、タイトルは発表時の使用言語に合わせてご作成をいただき、やむを得ない理由でそれが不可能な場合はタイトル末尾に「(発表演語：～語)」を付記していただくようお願いしております。発表応募の際には、これらの点をどうぞご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

◎第92回大会における大会準備委員会特別企画 (英語教育部門)のご案内

2020年の日本英文学会全国大会では、大会2日目に開催される第12部門シンポジウム(英語教育)と連動した体験型の特別企画を催します。演劇経験不問、事前申し込み不要、参加費無料です。ふるってご参加ください。

教室のReaders Theatre(音読劇)実践体験

日時：2020年5月16日(土) 午前10:00～
12:00(休憩あり)

場所：文系講義棟3階303教室

担当：シンポジウム第12部門司会・講師

浅野 享三(南山大学) 他

問い合わせ先：rt2020okinawa@outlook.jp

◎ハンドアウトのホームページ掲載

学会ホームページ(<http://www.elsj.org>)に、シンポジウムや研究発表の発表者からお送りいただいたハンドアウトを掲載いたします。発表者・登壇者の方でご協力いただける方はハンドアウトのファイルを大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。大会前に掲載を希望される場合は、大会当日6日前(2020年5月10日(日))までにご送付をお願いします。充実した大会にするために、大会発表者の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

◎紀要等展示室

第92回大会においても「紀要等展示室」を一般会員控室(文系講義棟2階213室)に併設いたします。目的は、会員の皆様が紀要等を交換する場を設け、会員間の交流の機会を確保することにあります。展示可能なものは、ご自分の論文の掲載された紀要、学会機関誌、雑誌等、またはその抜き刷り、および書籍等です。会員の皆様の積極的なご参加を歓迎いたします。

展示をご希望の方は、当日、展示物をご準備のうえ、展示室に用意された机に、ご自分で展示ください。展示物の搬入、展示、回収は、すべてご自分の責任においてお願いいたします。展示物の紛失等に関して、大会準備委員会、学会事務局および開催校は、一切の責任を負えません。また、開催校への展示物の送付は、保管等の責任を負いかねますのでご遠慮ください。

◎特別研究発表候補の募集

大会準備委員会では特別研究発表の候補者に関するご提案を、以下の要領で公募しております。ご提案がある場合は、大会前年の8月31日までに大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)まで、以下の所定の書類をお送りください。

〈特別研究発表の(募集)要領〉

- (1)発表時間は1時間
- (2)資格は、海外の大学等で専任の職を持っていること
- (3)謝礼は2万円(税込み)。その他、国内に限った交通費(要領収書)

- (4) 司会は原則として紹介者が行う
(応募の必要書類)
(1) 候補者の略歴、主要業績リスト
(2) 発表題目および発表要旨

採否の決定は、大会準備委員会で9月末日までに行い、決定次第ご提案者にご連絡差しあげます。

◎第93回大会(2021)ワークショップの応募開始

2021年に開催する第93回大会ワークショップの応募を開始しております。ワークショップはシンポジウムに準ずるもので、開催時間は当面、大会2日目午後の特別講演/シンポジウムの時間帯(2時間半程度)を予定しています。企画数の上限は当面3本程度とし、企画案は分野バランス等を考慮して大会準備委員会で選考いたします。

第93回大会分の応募締切は、2020年4月末日です。応募をご希望の方は、学会ホームページ(<http://www.elsj.org>)に掲載されている応募要領をよくお読みのうえ、同ホームページよりダウンロード可能な応募フォームその他の書類をそろえて、大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。

ワークショップはまだ新しい試みですので、より良いかたちを柔軟に模索しながら継続していきたいと考えています。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

◎交通アクセスについて

大会会場(琉球大学千原キャンパス)へは、臨時チャーターバスのご利用が便利です。学会期間中、1日目および2日目の開始・終了時間、懇親会の終了時間に合わせて運行します。

- ・ 利用料金：500円(片道)
- ・ 発着地：おもろまち駅—琉球大学千原キャンパス(直通)

また、学会両日とも、琉球大学の駐車場を無料開放いたしますので、レンタカー・自家用車等でおいでになることも可能です。

◎宿泊予約について

臨時チャーターバスの発着所である「おもろまち駅」付近のホテルが便利です。予約が混み合うことが予想されますので、早めの宿泊予約をお勧めいたします。

◎大会当日の昼食について

琉球大学の学食に特別営業していただきます。大学周辺には食堂やコンビニエンスストアも殆どないため、積極的にご利用いただければ幸いです。営業時間は両日とも昼食時(11:30~14:30)のみとなります。沖縄のソウルフードであるタコライス(数量限定)などのメニューの他に、お茶とセットになったお弁当も販売されます。

【編集委員会からのお知らせ】

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各1冊という刊行形態となっており、和文号、英文号それぞれに投稿の締切が設定されております。昨年9月の英文号の締切までには、22本の英文論文が寄せられ、うち4本が採用されました(ただし、前年度に連絡事故のため掲載漏れとなった論文が1本あるため、掲載論文数は5本となっております。当該論文の投稿者には、改めて心よりお詫びを申し上げます)。本年4月1日投稿締切の和文号にも、多数の投稿があることを願っています。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲載された論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。昨年9月締切の英文号では、残念ながら「該当論文なし」となりました。

◎第43回新人賞論文募集

4月30日締切で、第43回新人賞論文を募集しています。斬新なアイデアをお持ちの若手研究者の方々にはふるってご応募いただければ幸いです。若々しく野心的な論考を期待しております。応募される方は、上記学会ホームページ、あるいは『英文学研究』第96巻(和文号)で応募要領をご確認ください。

◎委員の交代

3月末日をもって石崎保明、川原功司、城戸光世、近藤弘幸、篠崎実、長島佐恵子、三杉圭子、武藤浩史の各氏が任期満了によりご退任となります。長い間ありがとうございました。

任期満了でご退任される委員の後任には、片山亜紀(獨協大学)、金澤俊吾(高知県立大学)、乗山智成(京都大学)、小町谷尚子(慶應義塾大学)、永富友海(上智大学)、難波江仁美(神戸市外国語大学)、前田雅子(西南学院大学)、宮本敬子(西南学院大学)の8氏が選ばれました。任期は4月1日からの3年です。どうぞよろしくお願いいたします。

【本部事務局からのお願い・ご報告】

◎会費納入と刊行物発送について

日本英文学会の2020年度会費は、例年通り、一般会員8,000円(本部会費7,000円+支部会費1,000円、ただし複数支部に加入の場合は1支部ごとに1,000円追加)、学生会員5,000円(本部会費4,000円+支部会費は一般会員に同じ)、協賛会員10,000円です。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メール(ejimu2@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までお問い合わせください。重複して会費を支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局(ゆうちょ銀行)に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。ご利用をご希望の方は、メール(ejimu2@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までご連絡ください。

消費税率の引上げに伴い、ゆうちょ銀行では振込手数料5万円未満の手数料が、振替用紙の

場合は従来の200円から203円に、ATMの場合は従来の150円から152円に変わっております(郵便自動引落の場合は、従来の54円から55円に変更)。ご注意ください。

◎全国大会の受付業務について

全国大会当日の受付業務は、以下の時間と内容となります。なお、2008年度より、会費の納入の取り扱いを廃止しております。さまざまなトラブルを未然に防ぎ、会員の皆様に大会プログラムに専念していただくための方策ですので、ご理解のほどをお願い申し上げます。

※受付時間：5月16日(土) 12:00～16:00

5月17日(日) 9:30～11:30

1) 当日会員の受付

非会員の方々でも、当日会員費1,000円をお支払いいただければ、『大会資料』を受け取り、すべてのプログラムに参加できます(ただし懇親会は、余裕がある場合に限り参加可能です)。後日、一般会員もしくは学生会員として正規にご入会いただく場合には、当日会費の領収書があれば、当該年度会費から1,000円を差し引かせていただきます。

2) 郵便局自動払込み領収書の発行

郵便局自動払込みをご利用の方には、ご希望により受付にて領収書をお渡しいたします。ご希望は自動払い込み申込時に伺っておりますが、お忘れの方はメール(ejimu2@elsj.org)・電話・ファックスなどで、事務局までご連絡ください。すでにご希望を頂いている会員の方は、郵送費の経費削減のためにも、ぜひ受付にお立ち寄りください。

3) 変更届の受付

ご住所やご所属等に変更がある場合は、変更届をご提出ください。

4) 出張証明書の発行

ご所属の大学で公費出張をなさる場合の出張証明書を発行いたします。ご入用の方は受付にてお申し付けください。

◎全国大会懇親会の予約方法について

第86回全国大会より、懇親会の予約を学会ホームページからの受付に統一しております。

詳しくは、本大会資料掲載の「第92回大会懇親会のご案内」をご覧ください。

◎入会・退会の手続きについて

入会・退会の手続きにつきましては、学会ホームページにて詳しくお知らせしておりますが、あらためて下記にご案内いたします。

《新規入会の手続き》

新規にご入会いただく場合には、本部事務局へご連絡ください。(1)ウェブ入会フォームの利用、(2)電子メールによるお申し込み、(3)ファックスや郵送によるお申し込みの3つの方法があります。

- 1)ウェブ入会フォーム：学会ホームページ上のウェブ入会フォームのページから必要事項を記入のうえ、お申し込み内容を送信してください。
- 2)電子メールによるお申し込み：学会ホームページ上の電子メールによる入会申し込みのページをご参照いただき、そこに用意されている「申込書」の書式をご利用ください。
- 3)ファックスや郵送によるお申し込み：学会ホームページ上のファックスや郵送による入会申し込みのページをご参照いただき、そこに用意されている「申込書」の書式をご利用ください。

お申し込み内容に応じて、事務局より、郵便振替用紙もしくは郵便局自動払込利用申込書のいずれかが、ご指定いただいた住所に送付されます。郵便振替用紙をお送りした場合は、会費をお振り込みいただいた時点で入会とし、また、郵便局自動払込利用申込書をお送りした場合には、これを事務局あてにご返送いただいた到着日をもって入会として扱います。研究発表への応募や論文の投稿などの資格も、これに準じて発生することになります。

《退会の手続き》

会員は、退会するときは、退会届を提出しなければなりません。また、2年間にわたって会費を滞納した場合は、会員の資格を失うこと

になります。(逆にいえば、会費を納めなくても2年間は会員扱いになり、当学会の学術誌や刊行物の送付を継続いたします。)資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

退会のご意思をお持ちの場合には、速やかに、ウェブ連絡フォームやメール等で事務局までご連絡いただき、どの年度をもって退会とするかをご指示ください。なお、本部のみ、支部のみを退会することはできません。詳細は学会ホームページ「退会の届け出」欄をご覧ください。

◎学生会員の皆様へ

学生会員の皆様には事務局から以下の2点をお願いしております。

- 1)毎年度4月末日までに学生証の写しを送付すること
- 2)郵便局自動払込みの申し込みをすること

すでに学生会員となっており、引き続き2020年度も学生会員の身分を継続希望の方は、4月末日までに、2020年度有効の学生証の写しを、メール添付PDFファイル、あるいはファックスにて、本部事務局あてお送りください。確認のうえ、2020年5月中旬に学生会員としての年会費を引き落とします(郵便貯金残高をご確認ください)。なお、上記2つの条件を満たさない場合、一般会員に身分変更するなどの措置をとらせていただくこととなりますので、ご注意ください。

また、身分に何らかの変更が生じた場合や、留学等で長期間海外に出られる場合などには、事務局までその旨ご一報ください。

◎各種変更に関するお願い

氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属、身分、所属支部などに変更が生じた場合には、お手数ですが、事務局まで速やかにご連絡ください。とりわけ、氏名と住所の変更は、会費の引き落としや刊行物の配送に支障をきたしますので、お早めにお知らせください。

◎夏休み中の事務連絡について

本部事務局は、7月27日より8月31日まで基本的に夏休みとさせていただきます。この間の学会へのご連絡は、郵便、ファックス、電子メールにて受け付けておりますが、ご回答までに日数がかかることもあります。予めご了承ください。

◎次回のニューズレターについて

次回のニューズレターは、2020年9月中旬刊行予定の『支部大会資料統合版』の巻末に掲載される予定です。なお、それまでの間に公開すべき情報は、随時学会ホームページにて告知いたします。

◎次期事務局構成

2020年度本部事務局は下記のメンバーで構成いたします。ただし、全国大会終了後の5月末までは現事務局が「主」、新事務局が「副」として業務にあたります。6月1日以降は、全面的に新事務局に移行します。

事務局長	武田将明(東京大学)
事務局長補佐	田中裕介(青山学院大学)
会計補佐	川崎明子(駒澤大学)
編集担当書記	市川千恵子(茨城大学)
大会準備書記	牟田有紀子(城西大学)
ウェブ担当	小林広直(東洋学園大学)

事務局は原田会長のもと、英文学会が会員の皆様の優れた研究・教育の成果を発表することのできる場であり続けるため努めてまいります。今後とも、会員の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。なお、現事務局にこれまで賜りました多大なるご支援に、この場をお借りして篤く御礼申し上げます。

日本英文学会事務局

岩田美喜・武田将明・川崎明子・
張替涼子・吉村理一・小林広直